

生ける人形 (1929)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 84分
初公開日 1929/04/19

【解説】

大阪朝日新聞の連載小説『生ける人形』を、小林正が脚色し内田吐夢が監督。映画評論家の双葉十三郎は、この作品を邦画ベスト10のうちの一作として挙げている。当時の世界恐慌の中で、階級社会の矛盾を訴える「傾向映画」の先駆的作品とされる。

野心家の瀬木大助は東京で出世することを目標に、田舎から上京してきた。しかし彼は資本主義経済のあおりを受け、東京で浮き沈みを繰り返していくのだった…。

【クレジット】

監督 内田吐夢
原作 片岡鉄兵
脚色 小林正
撮影 松沢又男
出演 小杉勇 瀬木大助
入江たか子 組川弘子
築地浪子 梨枝子
三樹豊 繁本社長
高木永二 青原代議士